

からきだ 菖蒲館

しょうぶかん

ハロー
From Shobukan
第27号



発行：2015年2月22日（隔月発行） No.027
唐木田コミュニティセンター運営協議会 編集：広報部会
公式ホームページ：<http://karakida.org/>
メールアドレス：karakidashobukan@ttv.ne.jp

からきだ菖蒲館コンサート

～東京芸大音楽学部附属高校2年生の演奏家たち～

◆ 3月14日(土) 開場 17:00 開演 17:30

会場：ロビー 入場料：¥500

出演：村田茉莉花(ピアノ)・上野萌華(ヴァイオリン)

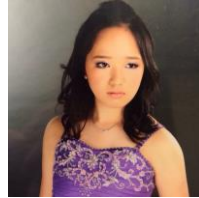
重松彩乃(ヴァイオリン)・芳野円香(オーボエ)・山下花音(クラリネット)

曲目：チャールダーシュ(モンティ)、クラリネットソナタより(サン・サーンス)、
亡き王女のためのパヴァーヌ、テイクファイブ、カルメンなど

主催：文化部会



■村田茉莉花
名古屋出身。第62、63回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第3位。第12回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクール入選。



■上野萌華
福岡出身。第62回全日本学生音楽コンクール福岡大会ヴァイオリン部門小学校の部第1位。同全国大会第2位。



■重松彩乃
東京出身。第67回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第24回日本クラシック音楽コンクール第4位。



■芳野円香
仙台出身。第14回日本ジュニア管打楽器コンクールオーボエ部門金賞、24回宮城県管打楽器ソロコンテスト金賞。



■山下花音
東京出身。ザ・クラリネット賞受賞。第8回横浜国際音楽コンクール管楽器部門・高校生の部第2位。



「からきだの道」で観察される鳥類

篠永 哲

春の鳥といえばまずウグイスでしょう。「からきだの道」では、5月になるとあちこちで鳴き声が聞こえます。注意して聞くと大体一定の間隔で鳴いています。繁殖期になると雄が縄張りを宣言するために鳴いているのです。これをテリトリーソングと言います。

「声はすれど姿はみせず」と言いますが、目の前で鳴いていてもウグイスの姿を見た人は少ないと思います。メジロ、シジュウカラやヤマガラもそれぞれの歌を歌いますが、ウグイスほどはっきりとしていません。

最も大声でうるさいのはガビチョウです。この鳥は中国から輸入したものが逃げて繁殖したもので、各地で増えて駆除対象となっている鳥です。

この時季になると南からホトトギスがやってきます。明け方飛びながら鳴いていたり林の中から鳴き声が聞こえてきたりしますが、姿はなかなか見えません。鳴き声はトッキョキョカキョクとか、テッペンカケタカと聞こえます。他の鳥の巣に産卵して育ててもらった託卵で知られていて「からきだの道」ではウグイスの巣に産卵すると思われる。

キジバトは森から住宅地に進出して街の鳥になっています。電柱などでデッポポと低音で太い声で鳴いているのですぐにわかります。街路樹で巣作りをするのが観察されたりするのでお寺のハト(ドバト)と間違える人もいます。

ハクセキレイは川岸など水辺に住む鳥ですが、市街地にも進出して道路などで見られます。コジュケイは



藪の中を走り回っているキジの仲間です。砦山の周辺でチョットコイとわめています姿はなかなか見られません。

林の中や住宅地で数が多く普通に見られるのはヒヨドリです。ピーと大きな声で鳴いて勢いよく飛んでゆきます。コゲラは最も小さいキツツキの仲間公園の桜の幹などをつつきながら虫などを捜しているのが見られます。

ここまでは、春から夏の終わりにかけての鳥たちの様子です。秋になるとホトトギスは南に帰り、子育てを終えたシジュウカラ、ヤマガラ、メジロなどは、それぞれ群れるようになり、北からはツグミやジョウビタキが冬越しのためにやってきます。ジョウビタキはヤマガラに似ていますが尾羽を上下に振る動作ですぐにわかります。ツグミは公園の芝生でよく見かけます。

鳥には、1年中同じ所に留まっている留鳥と、夏または冬にやってくる渡り鳥があります。鳥は移動が激しいので何時も同じ種が見られるとは限りません。継続観察していると面白い発見があるかもしれません。

筆者紹介：篠永 哲(しのなが さとし)
医学博士、虫研究の権威で虫捕り名人
東京医科歯科大学で研究、教育に携わる
「日本の有害節足動物」共著(東海大出版)ほか
東京動物園協会評議員 唐木田在住

「いいこと」発見！ コミュニティガーデン (最終回)

佐藤 佐知子

今回は、コミュニティガーデン自体の「いいこと」をお話したいと思います。ある地域では、ゴミの不法投棄のひどかった場所に花壇を造ったところ、不法投棄が無くなったという事例もあるようです。

まあ、それは大きな話ですが、地元のお花などの植物がたくさんあるのは、素敵なことだと思いませんか？仕事などから帰ってきて改札を出ると、帰ってきたな～と思う風景にお花があるなんて癒されますよね。

このような花壇づくりに参加している方はもちろん、直接参加していない方も、身近な人が活動に携わっていれば、関心もわいてより親しみをもって下さるでしょう。そうなることので、花壇づくりファンが増えていきます…素敵なお花と人が見えてきました！

最終回にあたり、このように「いいこと」がたくさんある花壇づくりのコツをお伝えしたいと思います。

まずはいい土を作ること。有機物を多く含む土には微生物も多く、程よい水分を含むふかふかな土になります。植物は広く根を張りぐんぐん育つことができます。

もう一つは、タイミングを合わせる事です。種子をまく、植え付ける、水をやる…。その植物に必要なタイミングで行うことです。春の花壇は、秋に種子をまき、寒くなる前に植え付けます。秋は気温がどんどん下がるのでその遅れが命取りになることもあります。強い霜が下りる前に植え付け、根をしっかりと張らせないと寒さに負けてしまうことも…。

水やりは、植え付けの時にしっかり行います。根と土を密着させる必要があるからです。日々の管理では水をやりすぎると、いつも土が湿った状態になり、苦勞せず水が吸えるので怠けて根を充分張らなかつたり、酸欠で腐ったりします。必要なものを、必要な時に与えること、それがコツですね！

欲を言えばもう一つ。デザイン的にも深みが出るので、色々な種類の植物を植え付けると良いですね！病虫害の予防にもなります。

一番大切なコツを忘れていました！楽しむことです！ぜひ、園芸ライフを楽しんで下さい。

これまでお読みいただき、ありがとうございました。何かご相談がありましたらぜひグリーンライブセンターにいらしてください。

また、大学ではオープンガーデンを行います。5月30日(土)の春の花壇が見ごろです。皆様の花壇づくりのご参考に、ぜひお越しください。お待ちしております。



4月上旬の大学の花壇

恵泉女学園大学オープンガーデン
3月14日(土)11:00～15:00(入園は13:00まで)
・ガーデンツアー 12:20～12:50
・スライド上映会 13:00～14:00
・入園料 500円(カフェのティーセット付)

筆者紹介：佐藤 佐知子(さとう さちこ)
恵泉女学園大学、多摩グリーンライブセンタースタッフ

スガナミ
ミュージックサロン多摩
楽器・楽譜ショールーム & ヤマハ音楽教室
コリア多摩センター4F (多摩センター三越上)
TEL. 042-375-5311 営業時間 10:30～21:00
<http://www.suganami.com/tama/>

AREA・T
唐木田・多摩センター周辺の
賃貸物件は当社にお任せください！
お部屋探しはもちろん管理募集のご相談も承ります
東京都知事免許(3)第81490号
株式会社 **エリア・ティ**
多摩市唐木田1-53-15-101 TEL:042-339-7001
<http://area-t.chintai-shop.jp/>

株式会社 **麻生 徽章**
TEL. 042(374) 0330(代)
FAX. 042(374) 0477
〒206-0033 東京都多摩市唐木田6丁目9番地1
E-mail: prize@asou-kisyo.jp

営業品目
バッジ・メダル カップ・トロフィー キーホルダー・時計・ストラップ
校旗・社旗・会旗・優勝旗・懸垂幕・横断幕のぼり・腕章・ワッペン
看板(室内サイン・屋外アートサイン/デザイン設計 施工)
東京都知事許可 一般建設業(般-23)第126872号
●その他各種記念品、特注品も承ります。☆ご用命を心よりお待ちしております。

<http://prize.asou-kisyo.jp/>

東急自動車学校 多摩市唐木田3-6
tel.042-372-0109

5周年 お客様感謝
キャンペーン